

# 哲多(岡山)に国際貢献大学校

AMD A協力 即戦力の人材養成  
来年9月開校

国際ボランティア活動の「な国際貢献大学校」が、岡山県哲多町に設立される。



「国際貢献大学校」に生まれ変わる大田小学校  
岡山県哲多町田淵

設立する同町の竹元武士町長と、運営に協力する国際医療ボランティア団体AMD A(本部・岡山市榎津)の菅波茂代表が二十日、岡山市内で会見し発表した。二〇〇一年九月に開校。国内外から研修生を受け入れ途上国援助などに活躍できる「即戦力」を養成する。

同校は、来春廃校となる大田小学校(同町田淵)の校舎を利用。三コースを設ける予定で、ボランティアリーダー▽国際的な資金運用や国際援助コーディネー

ト業務に携わる人材▽国際貢献に関する調査研究や評価、提言ができる人材ーなどの育成を目指す。研修生は社会人が原則で、AMD Aなどつながりがある海外団体からも受け入れる。講師は国内外のNGO団体や大学から招き、研修期間は数週間から一、二年。今秋、同町や学識経験者らで組織する開設準備委員会を設置し、研修プログラムなど策定。〇一年四月から研修生を募集する予定。国際交流に力を入れる同

## AMD A本部移転

来年1月  
岡山・賀陽に

AMD Aは二十日、岡山市榎津の本部を二〇〇一年一月に賀陽町の吉備高原都市へ移転、同時に「特定非営利活動促進法(NPO法)」に基づき法人化すると発表した。

移転は、国際援助など活動量の増大に伴い現本部が手狭になったため。情報通信環境が整い岡山空港へも近い吉備高原都市内の「業務商業ビル」(賀陽町吉川)に入り、一月上旬から業務

町は、同小学校校舎を有効利用しようとしてAMD Aに一年ほど前から施設誘致を打診。十九日の九月定例町議会で「公設国際貢献大学校設置条例」を可決、町を挙げて運営を支援していく。会見に臨んだ竹元町長は「町民のボランティア機運も高まり、人的交流により経済効果も期待できる」と話し、菅波代表は「これまで日本で不足がちだった国際援助のエキスパートをどしどし送り出したい」と話していた。

に当たる「アムダ・インターナショナル」など四グループが、それぞれ岡山県にてスタートする予定。

町は、同小学校校舎を有効利用しようとしてAMD Aに一年ほど前から施設誘致を打診。十九日の九月定例町議会で「公設国際貢献大学校設置条例」を可決、町を挙げて運営を支援していく。会見に臨んだ竹元町長は「町民のボランティア機運も高まり、人的交流により経済効果も期待できる」と話し、菅波代表は「これまで日本で不足がちだった国際援助のエキスパートをどしどし送り出したい」と話していた。